【注意】発行当時の原稿をそのまま掲載しております。農薬について記載のある場合は、最新の農薬登録内容を確認し、それに基づいて農薬を使用して下さい。また、成果情報によっては、その後変更・廃止されたものがありますのでご注意下さい。

［成果情報名］オウトウ「山形Ｃ12 号」（やまがた紅王）が自発休眠覚醒に必要とする低温遭遇時間
［要　　約］オウトウ「山形Ｃ12 号」が自発休眠覚醒に必要とする 7℃以下の低温遭遇時間は、1,300 時間程度である。
［部　　署］山形県農業総合研究センター園芸農業研究所・果樹部
［連 絡 先］TEL 0237-84-4125
［成 果 区 分］普
［キーワード］オウトウ、山形Ｃ12 号、やまがた紅王、自発休眠覚醒、低温要求量

［背景・ねらい］

オウトウ新品種「山形Ｃ12 号」の速やかな普及に向け、自発休眠覚醒に必要な低温遭遇時間を明らかにする。

［成果の内容・特徴］

1　オウトウ「山形Ｃ12 号」が自発休眠覚醒に必要とする低温遭遇時間（7℃以下遭遇時間）は、1,300 時間程度である（表１、表２、表３、図１、図２、図３）。

［成果の活用面・留意点］

1　本調査は、園芸農業研究所において、令和 4 年度に「山形Ｃ12 号」/ダーレン台（10 年生）3 樹、令和 5～6 年度に「山形Ｃ12 号」/コルト台（16～17 年生）3 樹を供試した結果である。

2　発芽率は、各日、結果枝を各樹 1 本計 3 本（令和 4 年度は 3～4 日おきに各樹 5 本）採取し、水を張ったバケツに立てて、20℃の恒温室に静置した後、2～4 日おきに花束状短果枝の状態を観察し、葉芽と花芽の発芽率を調査した結果である。

3　オウトウ主要品種の自発休眠覚醒に必要とする低温遭遇時間（7℃以下遭遇時間）は、以下のとおりである。

品種	紅秀峰	紅さやか	佐藤錦
低温遭遇時間（時間）	1,450	1,550	1,650

4　関連する既往の成果

平成 11 年度「おうとう「紅秀峰」の低温要求量」（指）

［具体的なデータ］

表１　枝採取日及び低温遭遇時間と発芽率（令和４年度）

採取日	低温遭遇時間（7℃以下）(hr)	花芽発芽率（加温20日後頃）(%)	葉芽発芽率（加温20日後頃）(%)
1/6	1236	94.2	96.0
1/10	1325	91.9	88.1
1/13	1399	93.6	86.3
1/17	1493	97.6	93.3
1/20	1570	98.2	96.7
1/24	1660	89.2	87.1

※園芸農業研究所内気象観測データより
■は、花芽・葉芽の発芽率が80％以上

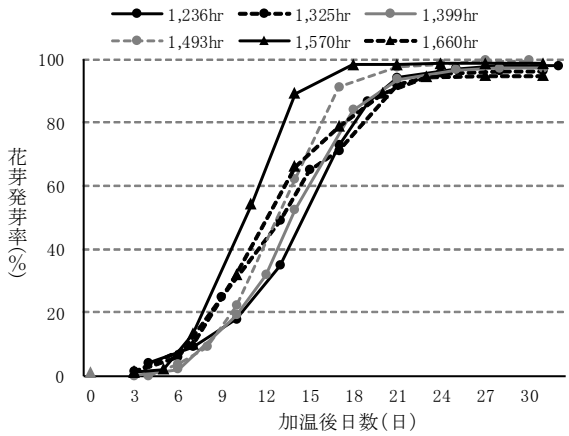


図１　花芽発芽率の推移（令和4年度）

表２　枝採取日及び低温遭遇時間と発芽率（令和５年度）

採取日	低温遭遇時間（7℃以下）(hr)	花芽発芽率（加温20日後頃）(%)	葉芽発芽率（加温20日後頃）(%)
12/27	907	70.9	59.1
12/31	997	71.7	71.4
1/4	1091	78.4	80.8
1/9	1193	91.7	86.7
1/13	1289	97.4	100.0
1/18	1406	99.1	100.0

※園芸農業研究所内気象観測データより
■は、花芽・葉芽の発芽率が80％以上

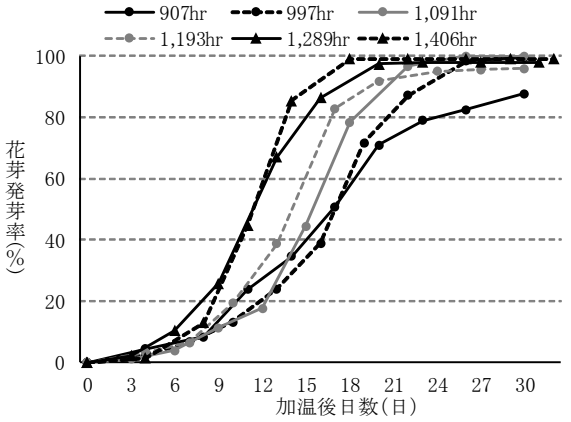


図２　花芽発芽率の推移（令和5年度）

表３　枝採取日及び低温遭遇時間と発芽率（令和６年度）

採取日	低温遭遇時間（7℃以下）(hr)	花芽発芽率（加温20日後頃）(%)	葉芽発芽率（加温20日後頃）(%)
12/30	1000	48.9	52.8
1/3	1100	58.5	44.1
1/7	1199	68.7	85.3
1/12	1307	97.6	88.7
1/16	1404	96.0	91.6

※園芸農業研究所内気象観測データより
■は、花芽・葉芽の発芽率が80％以上

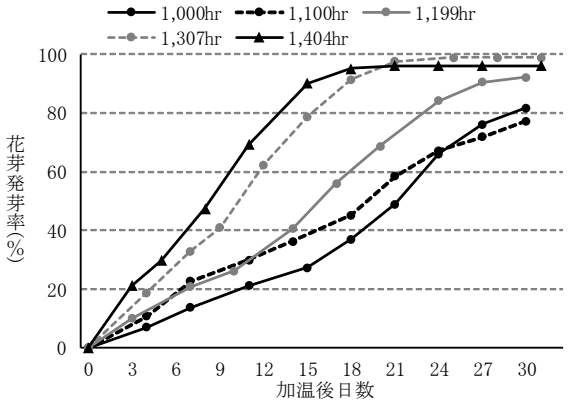


図３　花芽発芽率の推移（令和6年度）

［その他］

研究課題名：園芸作物奨励品種決定調査
予算区分：県単
研究期間：令和６年度（令和４～６年度）
研究担当者：丸川崇、安達栄介、菅野翔太、松田成美
発表論文等：なし